



Twitter



YouTube

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail : gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 266

2024

3.1

松が丘小学校&土小学校研究交流会が開催されました（速報）

2月22日（木）に「第2回松が丘小学校&土小学校研究交流会」が開催されました。昨年7月に第1回交流会として、研究の全体的な取組の交流をおこないました。今回は学年層ごとの取組をメインにした交流をおこないました。今回は明石市内の学校だけでなく、土小学校の学校運営協議会のメンバーや千葉県和学校関係者も交流に入られ、両校の取組に触れていただきました。

土小学校は松が丘小学校と同様、地域とつながった学びに取組まれています。その地域とつながった学びを“「いかす」学び”と打ち出し、「地域を活かし地域に生きる オーセンティック・ラーニング」と表現されています。また、地域教材の開発だけでなく、「学びは未来の社会を創る」をテーマに未来を生きる子どもたちの学び全体に焦点をあて、「子どもたちの学び仕組づくり」に取組まれています。交流では両校が目指す方向性が同じであり、地域とのつながりの中で同じような経験をしているから出てくる質問等が交わされたようです。予定していた時刻を超えるグループも出てくるなど、貴重な時間を共有できたのではと思っています。何よりも、同じような経験をしているから共有できることが多かったのではと思います。コロナ禍でオンラインの環境が整ったからこそできる交流であり、今後こうしたオンラインを活用した交流や、教師だけでなく、子どもの交流や共同プロジェクトが生まれてくるのではと思います。

学年層の交流については感想等がとどきましたら、改めてご紹介させていただきます。

当日第4会議室（学校経営）に参加された方より、感想が届いていますのでご紹介させていただきます。

土小学校の校長先生のお話などを聞いて、コミュニティ・スクールや学校の仕組みづくりの変革にむけては、

(1) 地域や子どもたちの実情をしっかりとらえたうえで、学校長の確固たる信念とビジョンが必要不可欠で、それを土台とした覚悟を持つことが一番大切であると強く感じました。

(2) 管理職の年限は2、3年というお話がありましたが、梅津先生はそれらに対してもいくつか手を打たれていました。

①教頭先生に、しっかりそのビジョンを引き継いでおられること。そして、今度は、教頭先生ご自身が、この2、3年で育ってきた先生方の意見を取り入れながらボトムアップによって、さらなる土台の強固を図ろうとしていること。

②また、学校運営協議会の方々も参加されていましたが、管理職として支えとなる保護者・地域の全面的な支持を得ていること。

この力はとても大きいものです。次の校長もその勢い、流れは尊重していくものと

なっています。

③先生たちの子どもへの教育のシステムがすでにスムーズに引き継がれていることです。クラブ、研修、出前授業、サポーター、・・・、先生たちも心地よい教育活動になっていること。

(3) オンライン (Webex) は、やはり、コロナで急速に広まった遠隔通信装置は教育でも大きな財産となりました。

途中、回線がうまくいかないところもありましたが、これは、TRY&ERROR で、徐々に解消されるでしょう。

何よりも、明石と柏がつながるというメリットのほうが大きいです。

失敗恐れずにこれからも続けてほしいと願っています。

貴重な機会を提供していただき、ありがとうございました。

子どもたちの教育が、これからもこのような未来を見据えた多くの先生が立ち上がっていることに希望を見出せました。

貴重な時間をありがとうございました。

オンラインが日常的になった今、千葉県のみなさんと交流できるのがほんとにありがたいです。松が丘小・土小の取り組みは次の私たち姿、共に歩んでいる進行形の仲間のように感じます。

学校経営の中で管理職が変わったら・・・という話がありましたが、先日、本校でも同じようなことを危惧されている保護者がいました。

学校職員が変わっても、地域に根差した学びがあることが大切で、カリマネはそのためにもみんなで作り上げていかないといけないと改めて感じました。

また、管理職が開かれた学校、開かれた教育課程をあたり前ととらえないと、学校が社会に置いてきぼりになっていくと思います。仲間、応援隊はたくさんいると実感しています。持続可能な学校、みんなの学校であり続けられるようにしていきたいです。

明石市立松が丘小学校と柏市立土小学校の研究交流会を Webex でリモート視聴しました。1 時間程の時間でしたが、明石市のコミュニティ・スクールの実践状況と柏市立土小学校の校長先生の3年間のご苦労と学校の大きな成果が伝わってきました。地域に足繁く通う校長先生のお人柄と職員の真摯な仕事ぶりに学校へのロイヤリティは確かなものとなっているようです。細かいところにも血が通った学校経営に学ぶことが多かったです。やはり、現場で踏ん張る校長先生は格好良しですね。(笑) さらに学んで現場に伝えていきます。引用) FB より

感想を送っていただきありがとうございます。また、「今日の会は先生方にとって自分たちの実践が他校の教員や地域にどう受け止められているかを知るのに良い機会だったと思います。」というコメントもいただいています。いただいた感想を読みながら、今回の交流は両校にとって答えを求める場ではなく、新たな課題を見つけ、自分たちの進んでいく方向を考える場になっていたのではと感じます。こうした交流が、新たな研究のスタイルとなり、教師だけでなく、保護者や地域の方も共に育っていく場になっていくのではと思います。こうした交流がスタンダードなるために、オンラインになれていかなければと反省しているところです。(文責：北本)